

傷つくことも傷つけることも防ぐために
知っておいてほしいキーワード……………①

【ジェンダー・バイアス】

あなたがあなたらしく生きるための第一歩
無意識の思い込みに気づき、自分や相手を認めよう

学校生活では男女間の差別など意識しなかったという人が多いかもしれません。確かに学校では男女に均等に機会を与える取り組みがされています。

では、皆さんの普段の暮らしの中ではどうでしたか？ 例えば、手芸やお菓子作りが趣味の男子をイジったり、おしゃれに興味がない女子をからかったりしませんでしたか？ それって「男は手芸なんてしない」「女の子は皆、おしゃれが好き」なんて思い込んでいるからではないでしょうか。

しかし、有名なデザイナーやパティシエに男性はたくさんいます。医師や建築家、運転手など男性が多いとされてきた職業に就き、活躍する女性も増えています。それは、「男だから」「女だから」ではなく、自分が好きなこと、興味があることを生かした結果です。

男性と女性の生物学的、生理的性差(セックス)とは別に、社会的文化的歴史的に作られてきた性差を指す言葉が「ジェンダー」です。先に書いたような、男女の役割についての固定的な観念あるいは偏見を、「ジェンダー・バイアス」といいます。



えっ! 日本って153カ国中
121位?!

世界経済フォーラムが2019年に発表した男女の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」の日本の順位です。「教育」「健康」の分野は高いのに「政治」「経済」の分野がとても低く、世界に大きく遅れています。これを変えていきましょう!

「ジェンダー・バイアス」は、それと気付かないまま持っていることが多いのです。そして、自分や相手の可能性を無意識に狭めたり、自由を奪ったりすることが起きがちです。

あなたがあなたらしく生きるための第一歩、それは、「男だから●●すべき」「女は●●しなければならない」といった無意識の思い込みに気付くこと。そして、そんなことに縛られず「自分らしくいいんだ」「彼女(彼)はそうありたいのだ」と、自分を認め、相手を認めることです。

こんな場面に遭遇したこと、
体験したことはありませんか?

熊本市男女共同参画センターはあもにい発行
「はあもにい通信」71号「男と女の△劇場」
(画/ブノ絵巳)から

男がいい!?

